

# 2021年度事業報告

自 2021年4月 1日  
至 2022年3月31日

公益社団法人広島県バス協会

## I 事業概況

県下のバス事業は、過疎化、少子高齢化、乗務員不足等により乗合バス、貸切バスともに厳しい経営環境にあるところ、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が2年を超え長引く中甚大な影響が引き続いており、さらに昨年からの燃油費高騰も加わり危機的状況がより深まっている。

乗合事業はこれまで堅調であった都市部においても、コロナ禍の影響による利用者が減少している状況でも大幅な減便を行えず、収支は大幅な赤字となっている。過疎化の進展等で厳しい経営が続いている地方部も含め経営の危機に陥っている。また、広域な移動自粛により高速バスは運休や減便を強いられ大幅な減収となっている。運送収入については2021年3月から2022年2月までの対2019年度比は、一般路線バス73%(2020年度70%)でコロナ禍での累計減収は113億円となっている。高速バスは37%(2020年度32%) コロナ禍での累計減収は62億円となっている。

貸切事業においては訪日外国人旅行客が皆無となり、団体観光旅行が激減する状況が2年を超えている。一時期回復傾向にあったがコロナ第6波により団体旅行が激減し大変深刻な状況となっている。当協会独自の調査により運送収入は、約半数の回答で57%(2020年度37%)でコロナ禍での累計減収は68億円となっている。

運行維持していくには事業者努力のみでは不可能であり、存続のためには国、県、関係市町の支援が必須であり、関係機関より各種支援・融資を受けながら事業を継続している状況だが、早いところでは返済が始まっている事業者もある。

乗合バス事業では、地域公共交通活性化再生法の改正と独占禁止法の特例が施行され、路線再編について広島市において北部バス路線の再編に向けた取り組みが示され、実現に向けて検討が進められている。共同経営についても広島市内で検討が進められている。利便向上に向けてスマートフォン等でリアルタイムなバス運行情報を提供する「くるけん」を10月に本格導入した。また、2021年3月に導入したバスデータのGTF S化を精度向上させグーグルマップ等でリアルタイムな乗継検索ができるよう取り組んでいる。地域の交通・観光施設等の検索・予約・決済を一元的に行うMaaSの活用が各事業者で取り組まれている。広島駅南口の再整備、安佐市民病院の移転、新サッカースタジアム建設、西広島駅再編、福山駅南口再整備、広島中心部のバス停ストレート化整備など工事、計画が進められておりバス乗降場の再整備あるいは検討が行われている。

安全対策として中国貸切バス適正化センターと連携しながら対応し、事業者の負担金の一部を助成した。また、広島駅新幹線口バス予約システムは2020年5月より運用を休止していたが、2021年10月から現場での運用を再開した。2022年の新型コロナウイルス感染症拡大による利用低迷により運用

資金が底をつきかけておりこのままでは値上げの検討が必要な状況である。

災害時対応では、鳥インフルエンザが発生し、広島県との協定により防疫従事者の輸送に取り組んだ。また、各事業者における事業継続計画策定推進のためモデルBCPを作成した。

運転手確保については運転体験会を2回開催した。

事故防止については、重点実施項目である「車内事故防止対策」「健康起因による事故防止対策」「右左折時の事故防止対策」「横断歩道における安全確認」を主体に事故防止委員会で取り組んだ。

広島県バス協会はこうした状況の中、2021年度事業計画に基づき、安全輸送体制の確保、バス利用促進及び活性化対策、環境対策など以下の課題に取り組んだ。

## 1. 輸送実績

### (1) 「乗合バス」

- ① 一般乗合バスは、新型コロナウイルス感染症蔓延拡大による緊急事態宣言による影響は、2020年度に比べ落ち込みは穏やかであるが、回復した場合でも運送収入は2019年度比で80%を超えていない状況である。

#### 【国土交通省 新型コロナ影響調査広島県分】

##### 一般路線バス 運送収入

	2019.3~ 2020.2	前年 度	2021.3~ 2022.2	前々 年比
3月	1,641,030千円	79%	1,295,257千円	79%
4月	1,670,092千円	53%	1,362,722千円	82%
5月	1,650,470千円	45%	1,053,028千円	64%
6月	1,623,937千円	73%	1,143,931千円	70%
7月	1,707,854千円	77%	1,263,496千円	74%
8月	1,641,327千円	71%	1,103,076千円	67%
9月	1,717,515千円	75%	1,157,436千円	67%
10月	1,676,600千円	82%	1,322,105千円	79%
11月	1,655,523千円	78%	1,283,091千円	78%
12月	1,659,443千円	70%	1,319,359千円	80%
1月	1,577,243千円	66%	1,031,258千円	65%
2月	1,458,876千円	71%	958,822千円	66%

##### 一般路線バス 輸送人員

	2019.3~ 2020.2	前年 度	2021.3~ 2022.2	前々 年比
3月	7,068千人	79%	5,739千人	81%
4月	7,281千人	53%	6,177千人	85%
5月	7,038千人	45%	4,720千人	67%
6月	7,029千人	75%	5,150千人	73%
7月	7,478千人	78%	5,616千人	75%
8月	7,082千人	73%	4,853千人	69%
9月	7,593千人	77%	5,206千人	69%
10月	7,371千人	83%	5,857千人	79%
11月	7,079千人	80%	5,631千人	80%
12月	7,118千人	72%	5,742千人	81%
1月	6,827千人	68%	4,484千人	66%
2月	6,276千人	73%	4,219千人	67%

2020.3~2021.2

年間減収額

-5,904,953千円

前年比

70%

2019比

73%

2020.3~2022.2 累積減収額

-11,291,283千円

#### 【中国運輸局運輸動向調査結果】

系 統		輸 送 人 員(人)												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
乗合 4社	2021	3,943,977	3,919,352	4,983,533	5,290,604	3,971,994	4,378,967	4,796,497	4,136,912	4,520,707	5,017,345	4,793,005	4,906,161	54,659,054
	2020	5,864,147	5,359,348	4,999,102	3,685,390	2,947,154	4,782,467	4,905,563	4,508,134	5,079,474	5,300,612	4,834,258	4,423,237	56,688,886
	前年比	67.3%	73.1%	99.7%	143.6%	134.8%	91.6%	97.8%	91.8%	89.0%	94.7%	99.1%	110.9%	96.4%

- ② 高速バスでは新型コロナウイルス感染症蔓延拡大による緊急事態宣言

や蔓延防止措置期間については2019年比で20%台に落ち込んでおり需要が比較的回復していた12月においても40%台で、蔓延防止措置解除後の3月の運送収入は2019年比で30%台しか回復していない状況である。

【国土交通省 新型コロナ影響調査広島県分】

高速乗合バス 運送収入

	2019.3~ 2020.2	前年 度	2021.3~ 2022.2	前々 年比
3月	429,603千円	49%	209,586千円	49%
4月	396,387千円	18%	147,374千円	37%
5月	392,735千円	6%	105,793千円	27%
6月	337,736千円	26%	87,070千円	26%
7月	353,881千円	36%	140,990千円	40%
8月	463,877千円	29%	128,434千円	28%
9月	470,523千円	33%	101,176千円	22%
10月	376,845千円	46%	166,909千円	44%
11月	382,774千円	48%	189,996千円	50%
12月	403,828千円	33%	225,242千円	56%
1月	362,289千円	24%	141,310千円	39%
2月	332,594千円	29%	94,300千円	28%

高速乗合バス 輸送人員

	2019.3~ 2020.2	前年 度	2021.3~ 2022.2	前々 年比
3月	255千人	55%	112千人	44%
4月	241千人	21%	121千人	50%
5月	255千人	7%	82千人	32%
6月	229千人	34%	62千人	27%
7月	229千人	45%	92千人	40%
8月	372千人	32%	78千人	21%
9月	283千人	42%	61千人	22%
10月	326千人	46%	107千人	33%
11月	309千人	49%	120千人	39%
12月	309千人	35%	132千人	43%
1月	283千人	27%	82千人	29%
2月	268千人	20%	55千人	21%

2020.3~2021.2

年間減収額

-3,217,302千円

前年比

32%

2019比

37%

2020.3~2022.2 累積減収額

-6,182,194千円

【中国運輸局運輸動向調査結果】

	年	輸送人員(人)												累計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
東京 5路線	2021	80	0	0	79	123	0	233	261	308	0	346	972	2,402
	2020	3,227	3,094	1,590	119	0	0	3	225	0	0	0	208	8,466
	前年比	2.5%			66.4%			7766.7%	116.0%				467.3%	28.4%
大阪 4路線	2021	4,047	4,984	9,311	4,747	2,982	3,126	4,102	3,638	3,408	3,580	4,493	6,428	54,846
	2020	13,806	13,038	8,520	1,135	0	2,349	4,207	4,101	5,923	5,883	6,387	4,102	69,451
	前年比	29.3%	38.2%	109.3%	418.2%		133.1%	97.5%	88.7%	57.5%	60.9%	70.3%	156.7%	79.0%
陰陽 5路線	2021	15,793	14,996	23,804	22,606	14,905	14,080	19,706	18,482	16,416	23,247	27,134	31,675	242,844
	2020	44,239	47,160	30,759	11,616	5,977	15,669	18,469	17,892	20,563	26,613	26,713	18,995	284,665
	前年比	35.7%	31.8%	77.4%	194.6%	249.4%	89.9%	106.7%	103.3%	79.8%	87.4%	101.6%	166.8%	85.3%
四国 6路線	2021	8,155	8,644	15,141	10,439	8,390	6,173	12,006	12,623	8,769	13,360	16,627	19,629	139,956
	2020	28,480	24,403	18,823	4,996	1,957	3,222	10,930	11,570	12,636	13,708	14,323	10,523	155,571
	前年比	28.6%	35.4%	80.4%	208.9%	428.7%	191.6%	109.8%	109.1%	69.4%	97.5%	116.1%	186.5%	90.0%

(2) 「貸切バス」

貸切事業では新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言のたびに需要が激減し低迷していたが10月から回復傾向となり、12月の運送輸入は2019年比で101%となった。しかし、オミクロン株の

第6波により需要が激減し、蔓延防止措置解除後も回復していない状況である。

【広島県バス協会 新型コロナ影響調査広島県分】

貸切バス 運送収入

		2019.3~ 2020.2	前年 度	2021.3~ 2022.2	前々年 比
3月	41社R3調	480,489千円	21%	172,594千円	35.8%
4月	44社R3調	579,413千円	15%	235,142千円	40.6%
5月	44社R3調	673,775千円	9%	182,822千円	27.1%
6月	44社R3調	596,032千円	21%	191,754千円	32.2%
7月	44社R3調	526,927千円	37%	316,530千円	60.1%
8月	42社R3調	458,004千円	37%	223,069千円	48.7%
9月	41社R3調	598,320千円	42%	167,761千円	28.0%
10月	41社R3調	730,688千円	55%	399,457千円	54.7%
11月	41社R3調	717,390千円	66%	521,623千円	72.7%
12月	42社R3調	318,749千円	96%	316,515千円	99.3%
1月	42社R4調	219,294千円	53%	107,776千円	49.1%
2月	38社R4調	290,434千円	57%	135,104千円	46.5%

貸切バス 運送回数

		2019.3~ 2020.2	前年 度	2021.3~ 2022.2	前々年 比
3月	41社R3調	2,091回	29%	3,798回	52.6%
4月	44社R3調	9,155回	24%	5,660回	61.8%
5月	44社R3調	11,539回	20%	4,673回	40.5%
6月	44社R3調	8,567回	45%	4,891回	57.1%
7月	44社R3調	7,953回	60%	5,219回	65.6%
8月	42社R3調	7,844回	67%	4,321回	55.1%
9月	41社R3調	8,587回	68%	4,342回	50.6%
10月	41社R3調	10,248回	72%	7,010回	68.4%
11月	41社R3調	9,491回	62%	7,222回	76.1%
12月	42社R3調	4,725回	95%	4,806回	101.7%
1月	42社R4調	4,064回	75%	2,651回	65.2%
2月	38社R4調	4,689回	80%	3,406回	72.6%

2020.3~2021.2 前年比 2019比  
年間減収額  
-3,821,387千円    
2020.3~2022.2累積減収額  
-6,796,803千円

【中国運輸局運輸動向調査結果】

	年	輸送人員(人)												累計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
貸切 大手4社	2021	8,819	10,121	20,266	29,169	25,880	12,584	40,321	33,003	25,237	51,684	64,803	56,644	378,531
	2020	26,810	26,899	8,981	5,790	5,477	5,851	20,666	23,979	24,643	45,959	44,746	30,737	270,538
	前年比	32.9%	37.6%	225.7%	503.8%	472.5%	215.1%	195.1%	137.6%	102.4%	112.5%	144.8%	184.3%	139.9%

2. 新型コロナウイルスの影響への取り組み

(1) 蔓延防止策

予防措置に関する国、県、日本バス協会からの文書を会員に周知。

(2) 事業者支援

- ① 国、県の支援・助成メニューを会員へ周知した。
- ② 国土交通省・日本バス協会の調査に合わせ、広島県バス協会として具体的な影響を把握し行政等関係機関への要請等に活用するための調査を実施した。
- ③ 国、県、市町へ要請活動を行った。
  - i) 広島県知事あて(2021年5月18日)、広島県議会議長・自民党広島県連会長あて(2021年6月2日)に「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等による支援の要望」を公共交通4団体(バス・鉄道・タクシー・旅客船)連名による要請書提出。  
2021年5月24日に同要請書提出による担当者による意見交換会を実施。
  - ii) 呉市長あて(2021年6月28日)に「新型コロナウイルスワク

チン優先接種のお願い」当バス協会・県タクシー協会呉支部・呉地区  
旅客船協会連名による要請書提出

iii) 広島県観光課長あて（2021年8月11日）に「地方創生臨時交  
付金及び地域観光事業支援の活用について」観光4団体（当バス協  
会・日本旅行業協会支部・全国旅行業協会支部・日本旅館協会支部）  
連名による要請書提出。

iv) 広島県知事・広島県議会議長あて（2021年9月21日）に「追  
加交付された地方創生臨時交付金（事業者支援分）の活用に対する要  
望について」観光6団体（当バス協会・日本旅行業協会支部・全国旅  
行業協会支部・日本旅館協会支部・県旅客船協会・県ホテル旅館生活  
衛生同業組合・日本旅館協会支部）連名による要請書提出。

v) 広島市長あて（2021年11月26日）に「新型コロナウイルス  
感染拡大に伴い影響を受けた旅行関係事業者への支援について」観光  
6団体（当バス協会・日本旅行業協会支部・全国旅行業協会支部・日  
本旅館協会支部・県旅客船協会・日本ホテル協会支部・広島市観光ホ  
テル旅館組合・日本旅館協会支部）連名による要請書提出。

④ 広島県からの支援

事業者が直接申請したもの

i) 公共交通ネットワーク維持確保補助金

乗合事業者 44,545万円

ii) 中山間地域交通支援金

本社所在地が広島県内の中山間地域にある乗合事業

一事業者当たり200万円 11,600万円

iii) 「やっぱ広島じゃ割」、同キャンセル補填 旅行会社へ支援

iv) 貸切バス事業への団体旅行キャンセル支援（広島じゃ割以外）

7/31～10/14分 上限1社 30万円

1/6～3/10分 上限1社 30万円

バス協会を通じ申請したもの

v) 公共交通感染拡大防止対策支援金

乗合バス（乗合タクシー含む）1台2万円 4,658万円

vi) 地域公共交通燃油費高騰緊急支援金（第1期）

乗合事業者 2,072万円

⑤ 広島市からの支援

i) 外出自粛要請の影響を受けた中小観光関係事業者応援事業（旅客自  
動車運送事業も対象） 1社30万円を限度

ii) 交通事業者への支援

パスピー割引の9/10補助（4月～9月、10月～3月）

iii) 「プレミアム付き交通券～『さあ乗ろう！！』キャンペーン」事業  
中止

iv) 広島市観光誘客促進実行委員会への支援 6人以上の団体旅行への  
支援（旅行会社へ100万円～500万円補助）

事業停止（2022/4/1～5/31再開）

⑥ その他市町の支援

i) 三原市

○ バス運行対策費

補助金交付要綱の一部改正

バス事業者の資金繰りを支援するため、補助金交付要綱を一部改正し、市単独補助金について概算払を可能とした。

ii) 竹原市

○ 商業者等支援給付金事業

新型コロナウイルス感染症の拡大により、経営に悪影響を受けている観光関連事業者等（宿泊、交通、食品関係等）を支援するため給付金を支給するもの。【予算額 42,375千円】

○ 電子マネーを活用した消費喚起事業

新型コロナウイルス感染症の拡大により減少した市内の経済活動について、消費行動を促進するため、電子マネーを活用した消費喚起事業を実施する。【R3.追加予算 28,200千円】

iii) 廿日市市

○ 自主運行バス運営事業

補助対象事業者：本市（公共交通事業者）

補助対象経費：

佐伯地域生活交通運行負担金追加： 2,880千円

吉和デマンド運行負担金追加： 720千円

吉和さくらバス運行負担金追加： 720千円

予算総額： 4,320千円

○ 地域公共交通再編事業

補助対象事業者：本市（公共交通事業者）

補助対象経費：

廿日市さくらバス運行負担金追加： 4,320千円

おおのハートバス運行負担金追加： 4,320千円

予算総額：8,640千円

○ 地域公共交通等応援事業【交通事業継続支援金】

37,470千円

新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大幅に減少する状況にあっても、感染防止対策を実施し運行を継続している公共交通機関等の事業継続を支援するため、車両等の固定費（維持費等）の一部を支援金として交付する。

【対象・交付額】

・バス（市内事業者） 乗合150千円／両・貸切90千円／両

iv) 東広島市

○ バス運行対策補助金（概算払の実施）

市内を運行する乗合路線バス運行事業者の資金繰りを支援するため、令和3年度実績見込みに基づき、概算払を実施。

○ 新型コロナウイルス高齢者ワクチン集団接種への移動支援

高齢者のワクチン集団接種会場への移動手段として、西条市街地循環バスを利用する乗客（接種者、介助者等）の運賃を無償とするもの。

実施期間：R3.6.7～R3.8.1

v) 三次市

○ 地域間幹線公共交通利用促進事業

高速バス及びJR芸備線の片道ずつがセットになった企画乗車券「バス&レール どっちも割きっぷ」への支援を実施。

支援適用前価格：2,400円/セット

支援適用後価格：1,500円/セット（タクシー利用券または駐車場割引券を300円分を付与）

vi) 世羅町

○ 高速バス乗車料金助成事業

新型コロナウイルス感染症による利用者低迷が続く高速乗合バス路線の存続に向け、利用促進を目的とした支援をする。

高速乗合バス（甲奴・甲山～広島線）【予算総額：956千円】

vii) 北広島町

○ 感染症対策支援事業

消毒剤の設置又は散布、飛沫感染防止シートの設置及び乗員・乗客へのマスクの配布その他の新型コロナウイルス感染症対策を講じながら運行している地域公共交通事業者

生活交通路線バス 車両1台当たり5万円

⑦ 広島県バス協会の会費を1か月分（2021年7月分）減免した。

⑧ 貸切バス会員が中国貸切バス適正化センターに拠出する負担金の半額（6万円を限度）を運輸振興助成交付金より助成した。

(3) バスの安全性と感染予防対策をPRする取組

① 啓発ポスターの車内掲示

② 2022年3月31日の中国新聞に全面広告を掲出。

### 3. 運輸事業振興助成交付金

広島県の2021年度の交付実績額は47,208千円で、前年度（48,747千円）と比べて約153万円の減となった。運輸事業振興助成交付金の用途については、交付金運用委員会専門部会で事業計画を策定し、交付金運用委員会の承認を得て実施している。内容としては乗合事業では、路線図の制作、バス停上屋の整備、バス停標識の整備等に活用し、貸切事業では、車内配布物や乗降用ステップ等の購入、貸切バス適正化センターへの負担金助成等に活用した。また、両事業共通では、事故防止対策関係として適性診断・運行管理者指導講習受講、SASスクリーニング検査助成及び乗務員確保対策事業等に活用した。

## Ⅱ. 事業別事業概要報告 『公益目的事業』

### 1. 安全輸送体制の確保に関する事業

#### (1) 事故防止・安全対策関係

##### ① 適正化実施機関関連

適正化実施機関（中国貸切バス適正化センター）による巡回指導は中国ブロックで355営業所のうち343営業所で実施され、このうち広島県は136営業所で実施された。新型コロナウイルスの影響も心配されたが、ほぼ予定通り実施された。

中国貸切バス適正化センターの運営において、貸切事業者からの負担金の徴収についてコロナ禍のなか納付しやすくするため、猶予期間を設け、分割納付も可能とした。負担金の納付が滞ると中国貸切バス適正化センターの運営に支障が生じ運営が困難になることが予測されることから、広島県バス協会としてもバス事業の安全の確保と会員の負担軽減の観点から貸切事業者が納付する負担額の半額（上限6万円）を運輸事業振興助成交付金から助成した。その結果、会員の負担金の納付率は100%となった。

##### ② 事業用自動車総合安全プラン2025

「事業用自動車総合安全プラン2025」が2021年3月30日に策定され、中国地方で定めたバスの目標は「死者数ゼロ」「重傷者数6人以下」「人身事故件数30件以下」「飲酒運転ゼロ」「乗合バス車内事故件数2件以内」「貸切バス乗客負傷者数ゼロ」である。

広島県バス協会としては、これらの目標達成に向けて事故防止対策委員会等を通じて各種事故防止対策に取り組んだ。なお、広島県下におけるバスが第一当事者となる事故件数は6件「前年12件（50%減）」で、死者1名「前年0件（-）」、負傷者10名「前年11名（10%減）」「飲酒運転はゼロ」となっている。（数値は中国バス協会事故防止対策委員会資料より）

##### ③ 車内事故関係

###### i) 添乗調査

2021年の車内事故は2件発生しており、事故の原因として車内確認不足とマイクでの注意喚起不足である。車内事故防止の取り組みも7年余りが経過したが、添乗調査の結果では依然として発車時の着席確認や高齢者への着席誘導、注意喚起の車内アナウンスが不十分であり、8年前と比べて改善されたといえる状況にない。引き続きドライブレコーダーを活用した指導教育を通じて発車時の車内事故ゼロを目指す必要がある。

###### ii) 広報

高齢者の車内事故防止対策として、広島県老人クラブ連合会の機関誌「ひろしま県老連」に広告を掲載し、バス車内での転倒事故防止のため、車内での着席とバスが止まってから席を立つことについて、理解と協力を求める広報活動を行った。

④ 健康起因関係

健康起因による事故は昨年度2件発生しているがすべて運行を中止し、利用者の被害はなかった。健康起因事故の要因は様々であり、重大事故に繋がる危険性が高いが、運転中に体調が悪くなった場合に早めに対応する体制が整ってきており重大事故を防いでいる。また、健康起因事故の原因となる脳疾患を早期に発見するための脳ドック受診やSASの検査費用の助成を行った。

⑤ 立哨調査

左折時の一旦停止状況および信号のない横断歩道での停止状況を立哨により調査し、左折時の事故防止対策及び信号のない横断歩道での事故防止対策の強化に取り組んだ。

⑥ 安全性評価認定取得支援

2022年4月1日現在の県下の認定状況は、57社807両(67%)が認定を取得しており、このうち19社304両は最高位の三つ星を取得し、13社144両が二つ星を取得している。コロナ禍前は、日本バス協会から講師を招聘して安全性評価認定制度の説明会を開催していたが、現在はホームページ上にて、動画による申請案内説明を実施している。広島県バス協会では安全性評価認定制度をバスの安全性を示す一つの指標として、貸切バス利用者に対して広く周知を図るため、ホームページに「お客様の安全・安心のために」のバナーを掲出して、貸切バスを選ぶ際に注意すべき事項を掲載し、そのなかで本制度の概要及び認定取得事業者が確認できるよう情報を公開している。

⑦ 事故防止に関するツールの制作

「初任運転者に対する指導・教育テキスト」および「ドライブレコーダーを用いた危険予知トレーニング」のテキストを作成し、会員事業者に配布した。

(2) 事故防止に関する講習等に対する助成

① 運転者の適性診断の受診

安全運転に必要なドライバーの心理・生理の特性を科学的に測定し、測定結果に基づく運転者の運転特性等について、助言・指導を適確に行う、国の指定機関が実施する適性診断の受診に対して助成した。〔助成内容：一般診断1,023人(2,455千円)、適齢診断347人(1,665千円)〕

② 運行管理者のための一般及び基礎講習の受講

運行管理者は国の指定機関が実施する運行管理者講習を受けることが義務付けられており、関係法令の知識・運行管理の基礎知識等を習得し安全運行に資することを目的として、当該講習(一般・基礎)の受講に対して助成した。また、運行管理者試験の受験資格となる基礎講習の受講に対しても助成した。その他全ての事業者に取り組むことが義務付けられている運輸安全マネジメントに関する講習の受講についても助成した。〔助成内容：一般講習555人(1,776千円)、基礎講習99人(881千円)、運輸安全マネジメント講習49人(254千円)〕

③ 睡眠時無呼吸症候群（S A S）

スクリーニング検査および精密検査の一部助成

睡眠時無呼吸症候群（S A S）に起因する居眠り運転や漫然運転による事故の防止を図るため、会員事業者がバス乗務員に専門検査機関による睡眠時無呼吸症候群（S A S）スクリーニング検査等を受診させることに対して助成した。〔助成内容：52人（152千円）〕

④ 脳健診

運転障害の一因としてあげられる運転中における突発性運転不能障害を引き起こす可能性が高い脳疾患による事故の防止を図るため、会員事業者がバス運転者に対して、専門検査機関による脳MRI検診及び脳ドックを受診させることに対して助成した。〔助成内容：15人（143千円）〕

⑤ 運行管理者及び運転者の安全運転研修の受講

バス乗務員の運転技術の向上と事故防止を図るため、運行管理者またはバス乗務員が、クレフィール湖東交通安全研修所等が実施する教習を受講することに対して助成を予定していたが、新型コロナウイルスの影響および開催予定日の大雪のため予定していた日程で研修が行えなかった。

⑤ 適正化実施機関負担金の一部助成

中国貸切バス適正化センターが実施する巡回指導に係る負担金の一部を助成した。今年度は新型コロナウイルスの影響を鑑み、助成額を増額した。〔助成内容：99社（4,912千円）〕

(3) 事故防止キャンペーンの展開

○ 交通安全運動及び年末年始の輸送に関する安全総点検への参画

広島県、広島県警本部及び中国運輸局が実施する交通安全運動・年末年始の安全総点検に参画し、県下バス事業者へ期間中の行動目標等の周知をおこなった。

## 2. バス輸送施設改善推進事業

(1) 広島県から交付される「運輸事業振興助成交付金」を活用して、県下の「バス停留所上屋の整備」「バス停留所標識の整備」等を実施した。

〔助成内容：バス停上屋の補修2件（691千円）、バス停留所標識の整備38本（2,260千円）〕

(2) 危険なバス停対策

2022年2月に「広島市新市」、「広島市中心部・府中町」、「呉市」のWGが開催され、その後、書面による「第2回広島県バス停留所安全性確保合同検討会」において、対策を実施とするバス停留所19カ所、追加するバス停留所8カ所が承認された。

2022年3月18日に中国運輸局より中国地方の危険なバス停について公表された。広島県は285カ所が公表され、バス停留所の安全性確保対策について、今後、路線バス事業者、国土交通省、警察、道路管理者等と連携して取り組んでいくこととなる。

(3) 福山駅バス乗降場の整備

広島県バス協会として福山市に要望していた福山駅北口バス乗降場の

代替地は、福山駅南口の3カ所を整備し乗降場として整備中で、2022年4月の供用開始予定である。また、福山駅南口の広場再整備計画が検討されており、路線バス貸切バスの利便性確保について注視していく必要がある。

### 3. バス利用促進及び活性化対策事業

#### (1) バス路線活性化の取組について

- ① 第11回広島市地域公共交通活性化協議会が2021年10月25日に開催され、市民アンケートの調査結果の報告と広島市公共交通計画骨子案に対する議論が行われた。
- ② 第12回広島市地域公共交通活性化協議会が2022年1月に書面審議され、広島市地域公共交通計画素案に対する意見を反映したのちパブリックコメントを実施後3月中に改定することとなった。

#### (2) 公共交通移動活発化（乗換改善）について

2012年度から広島県が取組んでいる「広島県公共交通移動活発化検討会」と連携して、2021年度は以下の取組みを行った。

##### ① 標準的バス情報フォーマット（GTF S）化の取組み

2020年度に実施したバスロケ等のデータのGTF S化を活用し、リアルタイムな乗換情報をグーグルマップなどの交通検索サイト等掲載されるよう取組みを進めた。2022年度当初にはグーグルマップへ(株)フォーブルとおおのハートバスの掲載が予定されている。引き続き、他事業者についても早期に掲載されるよう取り組んでいく。

##### ② 災害時交通情報提供

- i) 「平成30年7月豪雨災害」時に、利用者と運行者が鉄道代行バス等の臨時運行便の運行状況を正確に把握できず、公共交通利用が進まなかったことを踏まえ、災害時の臨時運行便等を含めた交通情報提供の仕組みの整備を行うことをねらいに開催。
- ii) 2021年度は、新たなバス接近情報サイト「くるけん」でも臨時バスロケーションシステムの試験運用をできるよう、進める事を確認し、今後、仕様、運用ルールについてメーカーを交え検討する。

##### ③ 乗換検索イベント

「乗換検索を活用して公共交通を利用する」という体験を通じて公共交通を身近に感じていただき、利用の促進を図ることを目的として、乗車イベント等を実施する企画。2021年度はコロナ禍が若干落ち着いた時期の2021年12月12日から2022年2月13日の間で実施。ただ、年明けのオミクロン株の急拡大により、まん延防止等重点措置が適用となり、参加者数が少ない傾向となったが、アンケート結果から、実際に参加した人の満足は高かった。

2022年度はコロナ禍で先の状況が見通せない事もあり、これまでのノウハウを活かし、各事業者で使用して貰えるような、公共交通イベントマニュアルを作成する事をメインとする方向で考えている。

#### (3) バス接近情報システム

2021年10月28日に、バスロケメーカー：モバイルクリエイト

社によるバス接近情報サイト「くるけん」の正式運用を開始した。

アクセス数もこれまでのバス接近情報サイト「Busit」と遜色なく、大雨時・降雪時のアクセス過多によるサーバー負荷が見込まれる状況でもシステムダウンせず対応出来ており、引き続き、より信頼性のあるシステムに高めていく。

(4) 海の子供運賃無料の取り組み

一般社団法人中国旅客船協会が「海の日」の理解を図ることを目的として行う「小学生運賃無料キャンペーン」の取り組みに連携して、県内の航路が発着する港に乗り入れているバス路線について、2018年度から「子供運賃無料」の取り組みを行っており2021年度も実施した。

(5) バス停・交通案内所の再整備

① 広島駅南口バス停・交通案内所の再整備

i) 広島駅ビル改築工事に伴う駅前広場の再整備によるバス乗り場の運用方法などに関して「広島駅南口再整備にかかる検討会」を年度内に7回開催し協議を行った。また、2024年春ごろからの広島駅南口バス停暫定利用時について検討を継続して行っていく。

ii) 2024年バス停暫定利用時、2025年駅ビル完成後、2027年バス停最終再整備後に向けての案内標識・バス停の配置、交通案内所の運用について検討を行っている。

② 広島市中心部バス停の集約

i) 立町バス停と八丁堀(あおぞら銀行前)バス停の集約における広島市のストレート化工事が2022年2月14日に開始、4月10日に完了。引き続き、6月中旬頃に既存のバス停上屋を撤去し、東側へ設置する施工を実施予定。

ii) バス停上屋広告のデジタル動画化

八丁堀(あおぞら銀行前)バス停上屋移設費用をバス事業者が負担することとなっているが、バス停上屋広告のデジタル動画化となれば上屋所有者であるMCドゥコーが負担することとなっており、道路管理者であり広告を管理している広島市と広島県警と協議を進めている。2022年夏頃の実証実験を行うこととしている。

③ バス停留所へ電子ペーパー表示器設置(2022年3月25日設置)

2022年4月8日より中国自動車道:4バス停(帝釈BS/広島方面、和知BS/広島方面、高宮BS/広島方面、美土里BS/広島方面)と山陽自動車道:2バス停(高坂BS/広島方面、高坂BS/福山方面)に「電子ペーパー表示器」を設置し、運用を開始する予定としている。

高速道路上での事故や災害により遅延や運休が発生した場合において、リアルタイムにてお知らせを表示する事や、遠隔操作にて時刻表の変更が可能となり、利用者及びバス事業者にとっても大変、有益な効果が想定される。

(6) 交通案内所の管理運営について

広島駅南口と新幹線口に設置した交通案内所では、英会話のできるスタッフを配置して訪日外国人への対応をするほか、広島駅及び周辺のバス乗り場を発着するバスの運行情報や観光情報を提供しており、引き

続き公共交通の案内所として内容の充実に努めている。

(7) バス運転者確保対策

運転体験会を実施した。バス運転者就職フェアは新型コロナウイルスの影響により中止した。

- ① 2021年10月17日に広島市の沼田自動車学校で運転体験会を開催し、定員30名中28名(2名欠席)が参加した。
- ② 2021年11月3日に福山市のロイヤルドライビングスクールで運転体験会を開催し、定員20名中20名参加した。
- ③ 大型二種免許取得費の一部助成

運輸事業振興助成交付金による地方事業として、旅客の利便性および安全確保のため、バス運転者の大型二種免許取得養成費用の一部を助成した。〔助成内容：17人(510千円)〕

4. 環境対策推進事業

地球温暖化対策の一環として環境に優しいバスの導入にあたっての助成及び関係機関と連携した環境対策推進キャンペーン等に取り組んだ。

〔助成内容：日本バス協会人と環境に優しいバス普及助成8台1,600千円〕

5. 関係機関との連携・要望活動

- (1) 広島県内の公共交通の利便性の向上や事故防止対策等について、関係機関等との連絡調整を図る観点から、以下の各種会議に参画し連携を図った。

- ① 広島県空港振興協議会と空港民営化を協議する活性化部会
- ② 広島県観光キャンペーン(広島県の観光情報発信、旅行商品の開発促進等)
- ③ 国、県、市、県警、NEXCO西日本及び自動車事故対策機構等の各種委員会、協議会、会議、事業等への参画及び連絡調整

- (2) 鳥インフルエンザ

- ① 2021年12月 福山市で鳥インフルエンザが発生し、広島県より職員の輸送を依頼された。
- ② 2019年に広島県と締結した協定に基づき広島県バス協会が貸切会員に運行調整し、防疫従事等行う広島県職員を輸送した。12月7日から10日まで延べ43両700名を輸送した。

6. 施設の管理業務(広島駅新幹線口バス乗降場予約管理システム)について

広島駅新幹線口を利用する貸切バス利用者の安全性の確保・利便性の向上及び混雑の解消を目的として、2016年4月から「広島駅新幹線口広場バス乗降場管理運営協議会」の委託を受けて運営している。

新型コロナウイルスの影響により2020年5月から運用を休止していたが、2021年9月より予約を再開し、10月より現場での運用を再開した。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大第6波により利用が落ち込み運用資金がひっ迫しており、今後の利用の回復状況により対策を検討していく必要がある。

## 『その他事業（会員のための事業）』

### 1. 理事会・総会・各委員会等

#### (1) 定時会員総会

第45回定時会員総会（2021年6月23日）

##### ① 「定時会員総会議決案件」

第1号議案 2020年度事業報告(案)について

第2号議案 2020年度決算報告(案)について

第3号議案 会費徴収規程(案)について

第4号議案 理事及び監事の選任並びに会長候補者の推薦について

##### ② 「報告事項」

i) 2021年度事業計画及び収支予算について

ii) 退会会員について

iii) 会費の減免について

#### (2) 理事会

##### ① 第132回理事会（2021年5月20日 書面審議）

###### i) 「定時会員総会議決案件」

第1号議案 2020年度事業報告について

第2号議案 2020年度決算報告について

第3号議案 会費徴収規程(案)について

第4号議案 理事及び監事の選任並びに会長候補者の推薦について

###### ii) 「理事会議決案件」

第5号議案 定時総会の開催について

###### iii) 「報告事項」

○ 代表理事及び業務執行理事の報告事項（2021.3～2021.5）

○ 今後の会議予定について

○ その他

##### ② 総会前臨時理事会（2021年6月23日）

###### i) 「理事会議決案件」

第1号議案 理事及び監事の選任並びに会長候補者の推薦について

（5月20日理事会以降で変更のあった理事候補者）

##### ③ 総会后臨時理事会（2021年6月23日）

###### i) 「理事会議決案件」

第1号議案 会長、副会長、専務理事の選任について

##### ④ 第133回理事会（2021年10月11日）

###### i) 「理事会議決案件」

なし

###### ii) 「報告事項」

○ 代表理事及び業務執行理事の報告事項（2021.5～2021.10）

○ 今後の会議予定について

○ その他

- ⑤ 第134回理事会（2022年1月20日 書面審議）
  - i) 「報告事項」
    - （仮）代表理事及び業務執行理事の報告事項（2021.10～2022.1）
    - 今後の会議予定について
    - その他
- ⑥ 第135回理事会（2022年3月24日）
  - i) 「理事会承認議決案件」
    - 第1号議案 2021年度決算見込について
    - 第2号議案 2022年度事業計画（案）について
    - 第3号議案 2022年度予算（案）について
    - 第4号議案 新規会員申込みについて
    - 第5号議案 職員の昇給及び役員酬額の減額について
  - ii) 「報告事項」
    - 代表理事及び業務執行理事の報告事項（2021.10～2022.3）
    - 「PASPY」のサービス終了について
    - 今後の会議予定について
    - その他

(3) 正副会長会議

- ◇ 開催なし

(4) 各種委員会等

① 乗合委員会

- ◇ 開催なし

② 事故防止対策委員会

- ◇ 定例（2021年8月27日）書面開催

- i) 広島運輸支局提出議題
- ii) 中国バス協会事故防止対策委員会専門部会の報告について
- iii) 立哨調査および添乗調査について
- iv) その他

- ◇ 定例（2021年12月2日）

- i) 広島運輸支局提出議題
- ii) 中国バス協会事故防止対策委員会専門部会の報告について
- iii) 2021年度に取り組む事項について
- iv) 事故防止研修について
- v) 事故報告について
- vi) その他

- ◇ 定例（2022年3月24日）

- i) 広島運輸支局提出議題
- ii) 中国バス協会事故防止対策委員会専門部会の報告について
- iii) 2022年度に取り組むべき事項について
- iv) 事故報告について
- v) その他

③ 貸切バス運営委員会

- ◇ 開催なし

- ④ 貸切バス事業部会
  - ◇ 開催なし（コロナウイルスの拡大のため）
- ⑤ 運輸事業振興助成交付金運用委員会（2021年5月25日）

伊藤委員長（広島工業大学教授）ほか4名の委員により下記の議題について書面審議いただき承認された。

  - i) 委員の変更について
  - ii) 2020年度運輸事業振興助成交付金実績について
  - iii) 2021年度運輸事業振興助成交付金事業計画について
  - iv) 運輸事業振興助成交付金各種助成事業交付要綱（案）について
- ⑥ 労務委員会
  - ◇ 開催なし
- ⑦ 乗合バスサービス向上運動協議会（2021年8月11日）
  - i) 乗合バス「サービス向上運動」の実施要領について
  - ii) 優良乗務員の表彰について
  - iii) バス運転者確保等に向けた取組について
  - iv) 交通事業者向け接遇ガイドラインについて
  - v) その他

## 2. 日本バス協会、中国バス協会との連携等

- (1) 日本バス協会の総会、事業者大会、役員会及び各種委員会への参画  
総会、運営委員会、理事会、各種委員会（各委員の方が出席）等に出席（書面開催を含む。）して情報収集を行い、必要に応じて情報の展開や会議を開催する等の対応を行った。
- (2) 中国バス協会の総会、役員会及び各種委員会の運営  
広島県バス協会では、中国バス協会の業務を受託しており、総会、理事会、専務理事会、事故防止対策委員会の開催ほか、バス要覧の編集・発行、労務情報等の各種資料の作成・提供を行った。今年度は、新型コロナウイルスの拡大のため、総会、理事会、事故防止対策委員会総会は書面開催とした。

## 3. 情報提供活動

- (1) ホームページにおいて、日本バス協会、行政機関等からの通達・指導文書等の他、会員各社の各種情報をほぼリアルタイムで更新し、会員及び利用者への情報提供のツールとして活用できるよう管理している。
- (2) 「バス協会だより（月報）」の発行
  - 毎月末に日本バス協会、行政機関等からの通達・指導文書等の他、各種情報を書面で全会員あて発送している。
- (3) メールマガジンによる各種法令、通達、道路交通規制及び労務・統計資料等の情報提供
  - 毎月3回5日・15日・25日に各種情報をメールにて配信。  
2013年度から重大事故に関する情報も掲載。

### Ⅲ 会 員 （ 2 0 2 1 年 3 月 3 1 日 現 在 ）

普通会員 103（103）・・（ ）は昨年度  
賛助会員 5（5）

### Ⅳ 役 員

会 長 1人  
副 会 長 3人  
専務理事 1人  
理 事 12人（会長、副会長、専務理事を含む）  
監 事 2人

### Ⅴ 会 員 保 有 車 両 数 （ 2 0 2 1 年 1 2 月 末 現 在 ）

乗 合 1,713両（1,768）  
貸 切 1,148両（1,180）  
特 定 72両（65）  
計 2,933両（3,013）

### Ⅵ 関 係 機 関 に 対 す る 要 請 活 動

1. 新型コロナウイルスの影響に対する支援の要請を関係機関に要請した。（詳細についてはI事業概況2.新型コロナウイルスの影響への取り組みと同じ。）
2. 燃油費の高騰対策として軽油引取税の減免について関係省庁への要請の要望を2021年10月29日付けで日本バス協会へ提出した。
3. 2022年3月15日開催された広島商工会議所運輸部会・中国運輸局・交通事業者団体の3者懇談において、中国運輸局と広島商工会議所への回答者に中国運輸局と広島商工会議所運輸部会への要望内容を記載した。  
中国運輸局への要請内容
  - ① コロナ禍におけるバス事業継続のための補助金等の支援を、引き続きお願いしたい。運休等の対応について相談があった場合、法規制等を弾力化した取り扱いの検討をお願いしたい。
  - ② カーボンニュートラル推進のための支援をお願いしたい。広島商工会議所運輸部会への要請内容
  - ① 広島市内集客施設におけるバス乗降場と待機場所の確保について対策の検討と関係機関への要請を行っていただきたい。
  - ② カーボンニュートラル推進とバス事業継続のため、公共交通の利用促進についての取り組みを検討していただきたい。
4. 2021年6月8日広島市とJR西日本に対し、横川駅交通広場の運用に関し、タクシーの待機を正規の場所（一般駐車場北側）で行っていただきたい旨の要請書を提出した。

## Ⅶ 表 彰

1. 中国運輸局自動車関係功労者表彰  
(2021年 6月 1日 式典中止) . . . . . 4社 6名
2. 広島運輸支局自動車関係功労者表彰  
(2021年11月 1日) . . . . . 3社 14名
3. 広島運輸支局運行管理者表彰  
(2021年11月 1日) . . . . . 1社 1名
4. 優良乗務員広島県バス協会長表彰  
(2021年12月 6日) . . . . . 8社 25名
5. 優良運転者日本バス協会長表彰  
(2021年12月 6日) . . . . . 6社 10名

2021年度事業報告においては、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条に定める「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。